

どがなかな 大田市です!!

大田市ふるさと情報誌

VOL.49
2022.3

道の駅「ごいせ仁摩」が 令和4年1月29日にオープンしました!

大田市産の杉、石州瓦、福光石など、
地域資源の豊富な大田ならではの資材をたくさん使用している駅舎となっています。
屋根付きイベントスペースには、
令和3年5月に三瓶山北の原で開催された第71回全国植樹祭の
「お野立所」を移築し、舞台装飾として石見神楽など様々な催しに活用します。

イベントスペース



道の駅
ごいせ仁摩
Goise-Nima



編集スタッフが



道の駅 ごいせに摩

Goise-Nima

に行ってみた!

買う

①物販コーナー

「琴鳴御塩(ことなきをえ)ル」

仁摩町馬路地区にある琴ヶ浜の海水を、平窯で炊き上げてできた塩です。白い塩と茶色の藻塩の二種類が販売されています。塩炊きには、海岸の流木等が使用されています。地域おこし協力隊員の武部豪(つよし)さんと、地域団体の皆さんが心を込めて作った、まさに地元産といえる一品です。



塩をPRする
武部さん



物販コーナーでは、大田でとれた新鮮な魚や野菜などの食べ物だけでなく、伝統工芸品も数多くそろっています。石見神楽にまつわる置物や神楽面など、バラエティ豊富です。

「ごいせに摩」のロゴマーク

世界遺産石見銀山遺跡の象徴とも言える「丁銀」と、ごいせに摩のアルファベット頭文字の「G」をモチーフとした、シンプルでインパクトのあるロゴマークです。国立公園三瓶山といった山々が日本海に映っている自然豊かな環境を、緑色と青色で表しています。



ピックアップ

④家族にやさしい設備



おむつ自販機や子ども用トイレ、授乳室など、子ども連れに便利な設備が整っています。



ごいせに摩周辺にある湯迫温泉旅館は、さらさらとした肌触りの天然温泉がある旅館。神経痛や疲労回復への効果がバツグンです。宿泊はもちろん日帰り入浴もできます。また、ペットと泊まれる部屋や、猫とふれあえるキャットルームもあり、かわいい猫達が出迎えてくれます。

湯迫温泉旅館
(大田市仁摩町天河内853)

【日帰り入浴】
10:00～19:00
(最終受付18:30)
定休日：水曜日
Tel:0854-88-2558



②カフェコーナー

食べる

駅長おすすめ
メニュー!



○マッスルチップス

国産の魚肉すり身とタピオカ粉で作った、化学調味料・香料・合成着色料無添加のお魚チップスです。味はプレーン・あなご・あおさの3種類があります。地元の県立瀬摩高校の生徒と上野屋蒲鉾店が共同で商品開発を進めたカフェメニューで、軽い口あたりとお魚の風味がクセになります。



○ソフトクリーム

スイーツの定番といえば、コレ。バニラ味には三瓶高原牛乳が使われており、爽やかなミルクの風味が広がります。マッスルチップスとの相性もgoodです(^-^)



③レストラン

大田市名物アナゴの天丼も食べられます!



楽しむ

⑤RVパーク施設

RVパークとは、キャンピングカーの車中泊専用有料駐車場のことです。駐車スペースを予約して、車中泊をすることができます。電源が確保されていることに加え、全国的にもめずらしい污水处理ができる設備も完備されています。

使用可能台数/5台
チェックイン/15:00～18:00
チェックアウト/翌日10:00
一泊 2,750円(充電・ゴミ処理込)
污水处理/330円



⑥ドッグラン



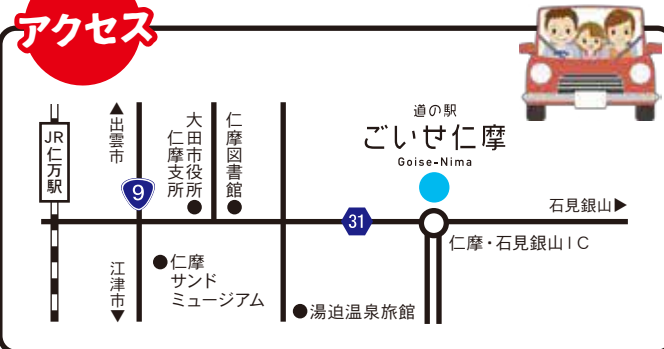
「小型犬」「中・大型犬」の区分けがあり、安心して使用することができるドッグランが整備されています。愛犬が走りまわりやすいように、柔らかい芝生が敷かれているのもポイントです。飼い主どうしのコミュニケーションのきっかけになるスポットとなっています。

⑦観光案内所

大田の観光案内はこちらへ!



アクセス



営業時間 物販・カフェコーナー 9:00-18:00
レストラン 11:00-17:00
観光案内所 9:00-17:00
定休日 火曜日(祝日の場合は営業)
1月1日
※トイレ・休憩コーナーは年中無休24時間開館

〒699-2303 大田市仁摩町大田42番地1
Tel:0854-88-9001

シリーズ 石見銀山④9

世界遺産登録15周年を迎えて…金森家住宅が県指定有形文化財に指定

世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」は平成19(2007)年7月に世界遺産(文化遺産)に登録され、今年は登録15周年にあたります。大田市ではユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産の保存と活用を推進してきました。その構成資産のひとつ、「大森銀山伝統的建造物群保存地区」は、世界遺産になるよりも以前、昭和62年に重要伝統的建造物群に選定され、こちらも選定から35周年を迎えます。代官所が置かれた陣屋町として発展した歴史的な町並みでは、日々の営みが大切に守り継がれています。

町並みのなかで、その屋敷構えからひととき特徴的な佇まいを見せる「金森家住宅」が、このたび県指定有形文化財(建造物)に指定されました。民家としては県内で5例目ということからも、その価値をうかがい知ることができます。金森家住宅は、町年寄や組頭をつとめた有力商家・泉屋川北家が住んでいたことで知られ、同じ地区内の重要文化財熊谷家住宅に次いで規模の大きい建物です。嘉永三年(1850)に建築された主屋のほか土蔵や土塀も残り、表通りからの屋敷構えは陣屋町時代の往事の町並みを偲べせます。このたび建造物指定に至ったのは、平成27年度から令和元年にかけて行われた保存修理工事の成果によるものです。工事に伴う調査から建物の建築年代を明

らかにする「棟札」や、建築当時の設計図である「指図板」、町内では熊谷家では確認されていない「地下蔵」など、貴重な史料や建築遺構の数々が発見されました。

また、同地区内にある県史跡「石見銀山御料郷宿田儀屋遺宅青山家」の保存修理工事も完了しました。ここでも、幕末の頃の「家相図」や、墨書(落書き)などが確認され、新たな発見がありました。これらの保存修理工事には、県市の文化財補助金のほか、世界遺産登録後に設立された「石見銀山基金」も活用されています。登録から15年をむかえた世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」、これからも守り、活かし、伝えることで保存と活用を推進していきます。

※金森家・青山家は内部非公開です。



▶県指定有形文化財
「金森家住宅」



▶県指定史跡
「石見銀山御料郷宿田儀屋遺宅青山家」

ふるさと情報誌「どがなかな大田市です!!」をご愛読いただいている皆さま

◆電子版への移行についてのお知らせ◆

ふるさと情報誌「どがなかな大田市です!!」は、次号50号よりインターネット上でご覧になれる電子版として発行することにしました。

引き続き紙面でご覧になりたい場合は、同封のチラシ「ふるさと情報誌どがなかな大田市です!! ご愛読いただいている皆さま～電子版への移行についてのお知らせ～」に必要事項を記入して、郵送またはFAXでご提出ください。次号以降も従来どおり郵送でお届けします。

※ご提出されなかった場合は、送付しません。

◆大田市公式LINEアカウントをご登録ください◆

電子版への移行にあたり、「大田市公式LINEアカウント」の登録をお願いします。ふるさと情報誌「どがなかな大田市です!!」の発行時にお知らせするほか、支援制度情報や、イベント・観光に関する情報、お仕事に関する情報など島根県や大田市の情報が受け取れます。この機会にご登録いただきますようお願いします。

大田市公式LINEの登録はこちらからどうぞ／



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所政策企画部まちづくり定住課 ☎:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@city.oda.lg.jp ※大田市のメールアドレスが変更になりました。(ohda→oda)

この情報誌は令和3年度より、年2回の発行、また全4ページでの制作に変更いたしました。引き続き、内容の充実にも努めて参ります。